



そのときあなたは？～避難所での生活を話し合い、考える～

本校に備蓄品として保管されていた乾パンの賞味期限が2月末までとなりました。これを良い機会ととらえ、各学級に配付し、自宅の備蓄品や避難所での生活についてみんなで話し合い、考えるための教材として活用させていただくことにしました。

話し合う内容は、学年や学級の実態に合わせてテーマを決め、取り組むこととしました。

避難所の状況を設定し、食べ物の量や配分について意見を交換したり、避難所の生活では何が大切かを話し合ったりした学級がありました。

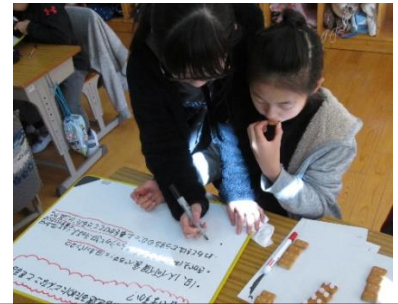


グループで考えたことを発表します。

地震や津波が発生したときの避難や対処について知ることはとても大切なことですが、避難後の生活を想定し考える防災教育もあります。

また、何事に対しても自分の考えを持つこと、みんなで意見を交換しながら、自分の考えを深めることはとても大切な学習です。

全ての教育活動の中で、「自ら問い、自ら考える」教育を実践していきたいと考えます。



考えたことをホワイトボードに整理中

幼稚園児と9年生の交流

2月4日(月)、鷲森幼稚園の園児(年長児)との交流会が今年も開かれました。

年長児にとっては、入学前に「学校」に少しでも慣れ、就学に備えるという目的をもった活動になります。9年生にとっては、「幼児の遊びの意義について理解すること」「幼児への関心を深め、かかわり方を工夫できること」という目的を持った家庭科の学習になります。



手をつないで校内探検に出発

9年生は、受け入れにあたり、幼児との遊びについて準備を進めてきました。ペア決定後、園児と一緒に校内探検をしたり、ランチルームで折り紙を折ったり、体育館で紙飛行機づくりやドッジボール体験が楽しくできるよう取り組んでいました。

言葉かけに気を遣いながら、また園児の言葉をしっかり聞き取りながら、思いやりある活動ができました。園児も9年生も、笑顔いっぱいの活動となりました。※2月19日(火)には、城北保育所・本町幼稚園の年長児と1年生の交流も行われました。



グループでの活動が始まります。

卒業まであと少し～学校をきれいに～

9年生の皆さんの卒業まで、あと一週間となりました。「お別れ式」や「卒業式」に向け、所作や呼びかけ、歌唱練習が各学年で本格的に始まります。

朝、職員室前で、床を一生懸命に磨いている9年生の姿を見ました。学んだ校舎の床を卒業前に黙々と磨いている姿に、最上級生としてのあるべき姿を感じました。



黙々と取り組む姿は美しいです。